

# 酒造好適米品種「吟のさと」を選定

農業研究部・水田農業グループ

## 1. 研究の背景

現在主流となっている「山田錦」「五百万石」等の酒米品種は、倒伏しやすいなど栽培性が劣る。そこで、栽培特性、醸造適性とともによれる新品種「吟のさと」を選定した。

## 2. 研究成果の内容・普及のポイント

表1 生育収量調査結果

場所	品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏程度	玄米重	対山田錦比	1穂粒数	登熟歩合	千粒重	目視心白発現率	タンパク質含有率	検査等級
		月.日	月.日	cm	cm	本/m <sup>2</sup>		kg/10a	%		%	g	%	%	
山国町	吟のさと	8.28	10.14	80	19.8	291	0.0	524	124	78	84.6	25.3	71	6.8	4.8
	山田錦	8.28	10.11	99	18.0	350	2.0	426	100	50	90.9	25.6	53	6.3	5.0
場内	吟のさと	9.02	10.19	85	21.5	278	0.5	554	108	94	78.4	26.0	79	6.9	4.7
	山田錦	9.02	10.24	108	20.6	367	3.6	514	100	66	76.1	25.4	69	6.9	5.3

注1)調査期間 山国町(標高234m):H28~29の2カ年平均、水田農業グループ(宇佐市):H27~29年の3カ年平均。

注2)移植期 山国町:6月6日~12日 場内:6月24日~27日

注3)倒伏:0(無)、1(微)、2(少)、3(中)、4(多)、5(甚)

注4)検査等級は、1(特上)、2(特等)、3(1等)、4(2等)、5(3等)、6(規格外)

### 1) 品種の概要

「吟のさと」は、(国研)九州沖縄農業研究センターにおいて、「山田錦」を母とし「西海 222号」を父として交配・育成された酒造好適米品種である。

「吟のさと」は「山田錦」と比較し次のような特徴がある。

- (1) 熟期はほぼ同等の晩生品種である。
- (2) 稈長は山田錦より20cm程度短く、穂長は長く、穂数は少ない、「穂重型」である。耐倒伏性は明らかに強い。
- (3) 収量は、「山田錦」が倒伏するような条件では「吟のさと」が明らかに優る。
- (4) 心白発現率は高く、玄米タンパク質含有率は同程度であり、酒造用に適している。
- (5) 千粒重は同程度で、酒造好適米の中では大粒である。
- (6) 醸造適性は、山田錦に匹敵する評価である。
- (7) 脱粒性は山田錦同様の「やや易」である。

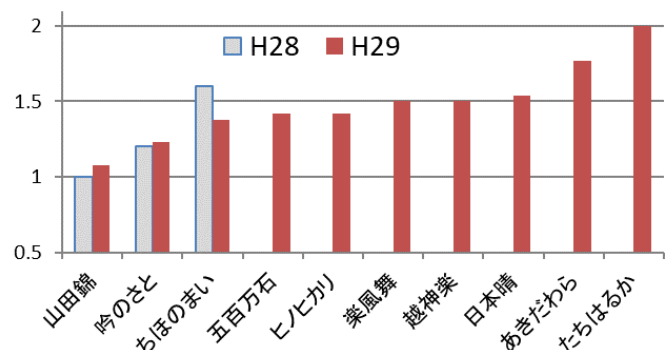


図1 官能試験総合評価(利き酒)

注 1)官能試験総合評価は数値が低いものほど評価が高い。

## 3. 期待される効果

既存品種「山田錦」からの転換に寄与できる。

## 4. 担当機関連絡先

農業研究部 水田農業グループ 水田農業チーム  
TEL: 0978-37-1160 住所: 宇佐市大字北宇佐 65

表3 成熟期7日後の脱粒率(2018年)

品種	脱粒率 %
吟のさと	5.5
オオナリ	3.9
夢あおば	1.4
タカナリ	9.4
ヒノヒカリ	0.6
クサホナミ	2.7